

# 岡崎ゆみのファミリーコンサート

～クラシックを聴くと良い子が育つ～



「普段、聴かない人にクラシックに触れてもらう活動をしたい！」

そんな思いから始めた妊婦さんや乳幼児向けのコンサートも20年以上続き、

ママ達からは定番と言われるほどになった「岡崎ゆみファミリーコンサート」。

ソニー音楽芸術振興会の胎教の為にコンサートから始まり、粉ミルクメーカーの協賛コンサートでは、1年間に全国10か所20公演を10年以上続けてきました。大勢の乳幼児を1時間も引き付けるのは大変難しく、ただクラシックの演奏のみでは、まず無理です。「英雄ポロネーズ」に始まり、トークを交え、ワルツでスイングしてもらったり、行進曲で手拍子や足踏みをしてもらったり、「フニクリフニクラ」で一緒に歌った後はブラームスの「子守唄」でスヤスヤし始めるとコンサート終了。岡崎ゆみ自身も20年間の間に、妊娠～出産～育児を経験し、ママたちと一緒に培ってきたファミリーコンサートは、他では例を見る事の出来ない唯一無二のコンサートです。

是非、皆様のお近くの幼稚園・学校・ホールなどで計画なさってはいかがでしょうか？



## <プロフィール>

東京藝術大学卒業、同大学院修了。大学院修士課程2年目の1983年にハンガリー給費留学試験に最優秀で合格し、ハンガリー国立リスト音楽院に留学。1986年朝日新聞主催第6回「新人音楽コンクール」ピアノ部門に優勝。文部大臣賞を受賞。1989年にキングレコードよりデビューCDを発売、その後ソニーレコードからCDを発売する。2004年より始まった和光堂プレゼンツ「ファミリー&プレママクラシックコンサート」は未就学児と妊婦に向けたユニークなコンサートとして全国各地で好評を博す。2005年にCD付き著書「クラシックを聴くと良い子が育つ」を上梓。

発売後2週間で丸善本店（丸の内）人文・ノンフィクションの部、第8位にランクイン。またクラシックの範囲にこだわらずシンガーの麻倉未稀とコラボレーションを行う。（財）ソニー教育財団評議員。2003年よりSony Music Artistsと契約。2007年より米国ワシントン州在住。当地の大学でアメリカ現代音楽と作曲を勉強し、またジャズ演奏をシアトルのジャズピアニスト、ダン・クラムリッチに、声楽をリーアン・キャンポスに師事。

## <コンサート例>

### 乳幼児向けコンサート

子犬のワルツ（ショパン）  
トルコ行進曲（モーツァルト）  
トロイメライ（シューマン）  
春の歌（メンデルスゾーン）  
きらきら星変奏曲（モーツァルト）  
各作曲家の子守歌  
エリーゼのために（ベートヴェン）  
ラデツキー懇親曲（シュトラウス）  
花のワルツ（チャイコフスキー）... etc.

### 親向け講演会コンサート

ワルツ/マズルカ/ノクターン/別れの曲/  
ポロネーズ（ショパン）  
愛の夢/ラ・カンパネラ（リスト）  
月の光/アラベスク/版画（ドビュッシー）  
水の戯れ（ラヴェル）... etc.



# 参考：年齢別・聴かせたい曲

年	特長	曲
～0歳		お母さんが好きでくつろげる曲
0歳	声の模倣が出来るようになる	メロディーラインがはっきりとした美しいもの
1歳	不協和音には反応しない	美しく響く協和音をふんだんに使った曲
2歳	運動反応が急激に増える	メロディーに加えてリズム感のあるもの
3歳	集中力がつき、不協和音にも反応するようになる	洒落た和音や少し複雑な和音を使った曲も加える
4歳	音楽のリズムに合わせて手をたたいたり踊ったりする音への認識ができてくる	さらに多様な曲。行進曲や交響曲などのたくさんの楽器を使ったものなど
5歳	自分の好きな音楽をきちんと聴くことができる	これまで聴いた曲を繰り返す物語や楽器名などからめて聴く
6歳～	音楽の持つ性格を把握できるようになる	楽しい曲に加え、暗い曲や悲しい曲などを幅広く取り入れる
1歳	「愛の挨拶」「G線上のアリア」「ラルゴ」「トロイメライ」	
2歳	「子猫のワルツ」「チャールダーシュ」「花のワルツ」	
3歳	「タイスの瞑想曲」「ボレロ」「ゴリウォークのケーキウォーク」	
4歳	「英雄ポロネーズ」「ラデツキー行進曲」「トルコ行進曲」「威風堂々」	
5歳～	「ラ・カンパネラ」「チゴイネルワイゼン」「ピーターと狼」「動物の感謝祭」	



※参考資料：岡崎ゆみ著「クラシックを聴くと良い子が育つ」より

